

一関楽走会

令和6年
7月号
No600
発行責任者
佐藤東
Tel23-0101
09068525852

中 募 会
集 員

6月例走会

6月2日、夜明けは速く3時には薄明になっていきました。今月は1名の参加で、例走会が開催されました。

役員会

6月15日山目市民センターにおいて、第3回役員会が開催されました。

会長から「今月は、会報600号の記念事業『中尊寺金色堂900年駅伝』を開催いたします。15日役員会で最終の打ち合わせを行います。皆さんの参加をお願いします」との挨拶がありました。

今回は、会報600号記念事業「中尊寺金色堂900年駅伝」を中心に話し合いを行いました。600号記念駅伝には会員13名の参加報告があり、加えて一関学院から3名の選手が参加することになりました。



前列左より 菅原孝一・川向愛斗・佐藤東・小野寺卓司・後列左より 千葉健一・齋藤祐二・阿部隆・千葉丈夫・平澤和則・畠山真佐実 写真に写っていませんが、齋藤明美1名の参加



左より 菅原孝一・佐藤東・小野寺良信・小野寺知夏・齋藤祐二・畠山真佐実・菅原東・菊田和夫・佐藤文政・岩淵吉郎 写真細川慎一の11名



スタート前 前列左より菅原孝一・齋藤祐二・小山一樹・千葉祐哉・三浦虎亜・阿部直子・後列佐藤文政・阿部隆・齋藤明美・小野寺知夏・菅原東・菊田和夫・岩淵吉郎・佐藤東・畠山真佐実・小野寺仁・大越昭夫 写真細川慎一

記念Tシャツの披露があり、1700円にて販売することになりました。なお、今回の趣旨に賛同していただいた医療法人三秋会様、NPO法人ケアセンタリーいこい様、レストラン古戦場様、芭蕉館様、榎丸東工務店様から、協賛いただきました。

1区	一関学院3名	5.3km
2区	阿部隆	4.9km
3区	大越昭夫	5.5km
4区	小野寺知夏	4.8km
5区	小野寺仁	5.0km
6区	菊田和夫	5.9km
7区	岩淵吉郎・菅原孝一	4.1km
8区	佐藤文政	4.0km
9区	齋藤明美	5.0km
10区	畠山真佐実・佐藤東	4.5km
柴山東治伴走		20km
齋藤祐二伴走		49km (全部)

7時50分、一関市役所に開会式が行われました。一関学院から、藤井監督と2年生の千葉祐哉選手、1年生の小山一樹選手、三浦虎亜選手が参加し、藤井監督から紹介がありました。また、「RUNぼるぎー」の代表阿部直子さんが応援に駆け付けていただきました。阿部さんからは、「いつも行事に声を掛けていただきありがとうございます。協力できませぬが、どうぞ頑張ってください」との挨拶をいただきました。



7区間 先頭で楽走会の旗を持って走る菅原孝一。金色堂900年駅伝の襷を掛けている岩淵吉郎。伴走の齋藤祐二。自転車から写真撮りの細川慎一。



左から 佐藤東・菅原孝一・畠山真佐実・小野寺知夏・齋藤明美・岩淵吉郎・齋藤祐二・菅原東・菊田和夫・小野寺仁・阿部隆・佐藤文政 写真細川慎一の13名
古戦場の風呂に入り、雨に濡れた体を綺麗に洗い、身も心もリラックスして、今日一日の健闘をたたえ合いました。

記録写真担当の、細川慎一さんには、自転車ですべての区間を回り、雨で濡れながら、選手や応援地域の風景などを撮っていただきました。マイクロボスの運転を、佐藤東さん、菅原東さんが交代し行っていたいただきました。皆さんのご協力で、無事完了することができました。レストラン古戦場において、風呂に入り、健闘を讃え懇親会を行いました。

7月例走会
7月7日(日)
午前6時00分
河川敷「トリムコース」
司会進行は平井恒雄さん
4月から10月は6時開会

会報原稿 募集
皆さんの寄稿をお待ちしております。
原稿×切 毎月15日

編集後記 楽走会のホームページは「一関楽走会」で検索
・会報600号記念事業『中尊寺金色堂建立900年駅伝』が成功裏に終わる事が出来ました。来月号に特集号を組みます。駅伝の写真と、皆様からの思い出など寄稿をお願いします。400字程度を目安に、15日を×切と致します。ご協力願います。
・ハーフマラソン1歳刻みランキングに一関楽走会から5名の方が載りました。速さを求めるのが楽走会の目的ではありませんが、その努力に敬意を表します。楽しく走ることが第一です。
・お願いですが、毎月の走行距離の報告は、15日を目途にお知らせください。

開催日	大会名	出場予定者
7月14日	小布施見にマラソン	・齋藤祐二
7月28日	日本海メロンマラソン	・安彦敏郎・安彦節子・齋藤祐二・千葉勇一・細川慎一

5・6月大会記録

- ・5/26錦秋湖マラソン
ハーフマラソン
細川慎一 2:02:02
10km
菊田和夫 42:22
齋藤祐二 43:28
菅原孝一 51:42
小野寺仁 53:28
齋藤明美 61:14
- ・5/26塩原湯けむりマラソン
10km
安彦敏郎 60:04
2km
安彦節子 37:29
- ・6/2金ヶ崎マラソン
ハーフマラソン
千葉隆 1:44:16
菅原孝一 1:55:21
細川慎一 1:59:12
10km
菊田和夫 42:34
齋藤祐二 43:25
安彦敏郎 56:37
佐藤文政 57:43
2km
安彦節子 12:53
- ・6/9最上川ふれあいマラソン
10km
小野寺良信 未
細川慎一 未
- ・6/9いわて銀河100kmマラソン
齋藤祐二 10:26:02
四垂真弓 13:57:22
- ・6/15名取シーサイドマラソン
ハーフマラソン
菅原孝一 2:02:40

最上川マラソン

小野寺良信

「また、やっちゃった！」
金ヶ崎マラソンに申し込んでいなかったことを知ったのは、申込締切後のことでした。これは2年連続の失敗であった。忘れていたことが悔しいので、申し込み可能な大会を調べた結果、金ヶ崎の1週間後開催の標記大会がヒットした。しかし、マップによると会場は山形県大石田町は車で3時間弱の場所であったことから、前泊としたが、近くの宿は見当たらず、結局会場から約20kmほど離れた東根駅の近くのホテルを予約できた。練習はそれ程熱が入らず、もっぱら会場近くの観光リサーチに余念がなかったのは予想通りのことであった。レースの前日、10時頃自宅を出発し、予定していた村山市の最上川美術館にて地元画家の絵を鑑賞し、次に東沢バラ公園では7haの広大な土地に世界各国の2万株のバラを見るにつき至福の時を過ごせた。

レースの朝は6時半に朝食を摂り、一路マラソン会場の大石田町役場に直行。受付でゼッケン、プロگرام、Tシャツを受け取った。(最近では珍しく計測用チップはなし)
種目は、2km・フルマラソン・10km、でほかにウオーキング、親子マラソンなど。
10kmに参加する自分は、会場周辺を散歩した後、10分間くらいのジョグで準備完了。
スタート地点で細川さんから、先日の金ヶ崎マラソンの結果を教えて頂いているうちにスタートの合図。あれよあれよという間に、細川さんの後ろ姿は遠く一方であったが、幸い後方スタートした特権？で先行ランナーを少しづつ抜いていく小気味よさを味わいながら、何とか121位でゴールした。(エントリ数は229人。タイムは多分57分前後)
抽選結果を確認し、ハズレのボックスティッシュを受け取った。

参加費2千円で、Tシャツ+レース後の飲食物、抽選による景品があるこの大会は、誠にコストパの良大会でした！

着替えも早々に会場近くにある大石田温泉に行き、念願の盛大さばを堪能しました。

暑くなく、気候に恵まれました。

千葉隆

全力で、ラストスパート細川慎一さん。2時間切り達成。

5月走行距離

順位	名前	5月	累計
1	齋藤祐二	323	1,515
2	阿部隆	310	1,517
3	千葉隆	287	1,300
4	西城孝	250	1,250
5	小野寺卓司	228	1,133
6	畠山真佐実	224	1,245
7	伊藤克則	200	1,000
8	柴山東治	195	1,305
9	菊田和夫	195	1,411
10	大越昭夫	184	982
11	菅原孝一	168	949
12	佐藤文政	165	788
13	小野寺仁	163	696
14	千葉勇一	132	448
15	細川慎一	128	818
16	四垂真弓	123	693
17	齋藤明美	120	590
18	安彦敏郎	115	485
19	須藤正男	102	425
20	吉川勝哉	90	338
21	小野寺良信	90	455
22	岩淵吉郎	80	340
23	平澤和則	76	245
24	安彦節子	64	371
25	小野寺知夏	50	430
26	川向愛斗	20	55
27	千葉健一	10	30
28	菅原東	5	15
29	村田睦夫	5	30
30	熊谷秀雄	未	425
31	金田真太郎	未	69
32			



あと100mです。まだ、余裕があります千葉隆さん

金ヶ崎マラソン



ご満悦の小野寺良信さんと大盛そば

初めての100km。未知の世界に飛び込み、

いわて銀河100kmウルトラマラソン



どんな時でも完走する菅原孝一さん

塩釜マラソン



全力で、ラストスパート細川慎一さん。2時間切り達成。

令和5年度1歳刻み(全国)

ハーフマラソンランキング

83歳	佐藤文政	5位	2:24:42
68歳	柴山東治	32位	1:41:17
66歳	千葉隆	59位	1:40:51
65歳	菊田和夫	20位	1:32:36
64歳	齋藤祐二	40位	1:35:31

ランナーズ8月号に掲載おめでとうございます。

分の限界にチャレンジです。天候は、湿度が高く、後半少し暑い感じ。エイドの豚汁、梅干しや冷えてミカんとレモンなどが美味しくて身体に沁みました。80km過ぎから足の痛みで早歩きとランの繰り返し、あとは関門との戦いでした。

各関門を5〜10分前のギリギリ通過でしたが、制限時間2分前に無事ゴール。

ゴール後はうれし涙が止まりませんでした。体力もですが、普段のポジティブ思考が功を奏した大会でした。